



左が「オオハクチョウ」で、少し画像が荒いですが右が「コハクチョウ」です。体格が違いますが、見た目はほぼ同じで、ぱっと見はわかりません。



※野生動物は自分で食べ物をとる能力があります。餌付けはしないでください。また、触ったり、近づきすぎないようお願いいたします。



日本に飛来する白鳥は、2種類おり、オオハクチョウとコハクチョウがいます。2種類共にユーラシア大陸の北部から飛来しますが、オオハクチョウは、カムチャツカやシベリアなどから、コハクチョウはさらに北の北極圏からも飛来します。夏はユーラシア北部で子育てをし、冬になると餌場が凍り付いてしまうため、9月頃から南下してきます。北海道を経由して、本州に飛来し、オオハクチョウは関東以北、コハクチョウは西日本まで飛来します。コハクチョウは繁殖地が北であるほど、南に飛来する傾向があるようです。

青森県では、平内町の浅所海岸やおいらせ町の下田公園、十三湖、岩木川など県内にいる様々な水辺に飛来します。

オオハクチョウとコハクチョウの見分けやすい特徴はクチバシの模様です。オオハクチョウのクチバシは黄色の面積が多く黒色の部分に割り込むように尖った模様で鼻の穴辺りまで黄色いです。コハクチョウは黄色の面積が少なく、鼻の穴の周りも黒色です。偶然にも単体で写した白鳥がオオハクチョウ、群れで写した白鳥がコハクチョウでした。

3月頃には、雪が解けはじめた田んぼで見かけます。白鳥は主に水草や穀物を食べますが、雑食で昆虫や貝、甲殻類も食べるそうです。雪解けの田んぼは一見何もなさそうですが、稲刈りの際にこぼれたお米などを食べているそうです。

たんさく

青森県の鳥「白鳥」を見に行こう！

弘前地域で、「コープあおもり30周年記念企画」を開催しました。



2023年10月18日(水)「コープあおもり30周年のあゆみを学びあい、新たな発展の1歩を踏み出しましょう」テーマに、「ヒロロ」で弘前地域コープあおもり30周年記念企画が開催されました。

企画では、コープあおもり30周年を振り返る映像を視聴した後、弘前市出身の横笛演奏者 HIROMASA さんの演奏は、最後にアンコールも出るほど参加者に変喜ばれました。

元常務理事の土岐峯子さんから「30年のあゆみ」の講演をいただき、最後にお楽しみ抽選会をしました。また、会場には30年間の活動の写真、ニュース、資料を展示し、参加者された皆さんに見てもらいました。

参加者からは、「すごく良い企画だった！参加して良かった！」と感想をいただきました。

「コープあおもり30周年企画」五所川原地域で、「やってまれ・やってまれ・五所川原」を開催しました。



2023年12月10日(日)五所川原市民学習情報センターで30周年記念企画「やってまれ・やってまれ五所川原～親子で一緒にあそぼう～」を開催しました。

佐藤ひろみちお兄さんの体操教室スタッフ、亀井教人先生と佐藤文哉先生を講師に親子体操を開催しました。参加した親子はもちろんですが、その場にいた全員が笑顔で楽しく体操をしました。

また、2階展示コーナーでは、体組成測定・ベジチェックで健康度チェック、プレゼントがもらえるスタンプラリー・輪投げ、牛乳パック10枚でコアノンロール交換会、委員会活動の展示や体験コーナーくらしと防災委員会は、簡易トイレの展示や防災リュックの中身を公開、環境委員会は保冷剤を使った芳香剤づくり。などを行い、来場された組合員さんに楽しんでもらいました。